

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	もりおか映画祭事業			事業コード	1560
担当課等	所属名	商工観光部 ブランド推進課	担当係名		
	課長名	商工観光部 ブランド推進課	担当者名	小原幹男	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光交流の推進	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 盛岡ブランド推進事業(010-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 平成20年度～)					
事務事業の概要	盛岡・岩手ゆかりの作品や新人監督の作品、商業ベースにはのりにくい作品、大衆性の高い作品などを取り上げ、映画の持つ素晴らしさを広く市民に理解していただき、盛岡の映画文化を継承していく。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
映画の街、盛岡で10年間開催された、「みちのく国際ミステリー映画祭」の実績を引き継ぎ、新しい才能の交流・発表の場として歴史ある映画文化を持ち続ける盛岡で、映画祭を開催する。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
映画祭の実施は、劇場で見る映画の素晴らしさの再認識するきっかけになる。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどのように変化したか。今後の見通しはどうか						
郊外型のシネコンが全盛となる中で、単館の映画館が長い歴史を閉じている。大衆受けする商業映画しか見ることが出来なくなることは、限られた作品しか観る事が出来なくなることを意味し、映画文化の根付いている盛岡ですら、映画を観る機会や映画を上映する機会が失われてしまう。若い才能による優れた作品の発表の機会を作り、若い才能達の交流の場としての映画祭を実施し、単に映画を上映するだけではなく「映画の街盛岡」として、映画文化を発信していく役割を担う。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民、観光客	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡市民 B. 観光客入込み数 C.	単位 万人 万人回 単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・実行委員会に負担金を交付した。 ・ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、事業運営について民間企業と連携した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・実行委員会に負担金を交付する。 ・ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、事業運営について民間企業と連携する。 ・映画の街推進事業と連携した事業展開を図る。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 映画の上映本数 B. 観客動員数 C.	単位 本 人 単位
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・市民や観光客がより楽しめる企画の実施により動員数を増やす。 ・イベント開催期間以外でも、映画鑑賞(中心市街地)に出掛ける人を増やす。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 当該月観光客入込み数 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】 B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】 C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位 千人 単位 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	観光客などの交流人口を増加させる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	観光客入込み数(単位:万人回)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市民	万人	32	30	30	30	30	30	24年度 30
対象 指標B	観光客入込み数	万人回	472	459	466	444	472	478	24年度 478
対象 指標C									年度
活動 指標A	映画の上映本数	本	12	12	12	12	12	12	24年度 12
活動 指標B	観客動員数	人	1607	1707	2500	1647	2000	2000	24年度 2000
活動 指標C									年度
成果 指標A	当該月観光客入込み数	千人	420	408	430	400	430	430	24年度 430
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,800	2,000	1,500	1,500	1,500	1,500	*****
財源 内訳	④国	千円	548						*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,252	2,000	1,500	1,500	1,500	1,500	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,800	2,000	1,500	1,500	1,500	1,500	*****
延べ業務時間数		時間	222	315	300	350	300	300	*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	888	1,260	1,200	1,400	1,200	1,200	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,688	3,260	2,700	2,900	2,700	2,700	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:「映画の街盛岡」として盛岡の知名度向上や映画へ関心を向けることで、映画館や中心市街地への誘客を図ることを意図しており、観光客などの交流人口を増加させるとの結果に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:かつて民間主導の行事であったところ、入場料収入・広告料収入などでの運営では厳しい現実はあるが、市民や観光客が期待している行事であることから、市からの一部助成は妥当である。ただし、事業継続については民間イベントとしての自立が望ましい。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:対象を特定せず、広く市民に呼びかけており拡大の余地はない。また、特定の映画ファンにのみ絞り込んでしまうことは、一部の人を対象とした小さなイベントになることから、対象を限定はしない。ただし、上映作品を選定する際には対象者を想定することが必要である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:イベントの実施により、イベント動員数を増やすこと及び中心市街地への市民・観光客を誘導することは意図として妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:企画の見直しにより成果向上の余地がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:盛岡の文化としての映画文化が衰退し、市街地の中心に位置している映画館は郊外型のシネコンに取って代わられてしまい、盛岡ならではの街の特長を失ってしまう。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: :映画祭の現在の運営状況では、事業費をイベント収入で補うことは出来ない。当面は市の負担金を維持し、支援を継続する必要がある。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容:実行委員会事務局は市が担っており、映画祭当日も市職員が役割を担って運営している。しかし、事務局を民間やNPOに移管することにより、人件費を削減する余地がある。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:誰でも映画祭に参加できることから、公平性は保たれている。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:映画鑑賞には作品に応じた負担があり公正である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること ・企画運営の主体を民間企業やNPOに移行し、映画祭を魅力ある催事にリニューアルしていくとともに、通年で盛岡ならではの映画文化伝承や映画の街を盛り上げる仕掛けづくりを検討する。 ・映画の街盛岡推進事業と連携した事業展開を図る必要がある。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) ・映画関連事業を一体的に展開しようとする民間企業やNPOを探すことができるかが問題である。 ・ふさと雇用再生特別基金事業を活用し、民間企業が映画祭企画運営に参画することから、提案などを受けながら今後の移行に向けた検討を行う。 ・映画の街盛岡推進事業を所管する商工課に事務局を移管し、当該推進事業と連動した事業展開を図る。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>前年より取り組みを早めたことで、上映映画は決まったものの関連事業の内容が確定せず周知が遅れ集客に影響した。映画進行関連事業による人材を得て新たな運営体制になったことで事業内容を広げることが出来た。映画を鑑賞してもらっただけでなく、より多くの市民の方々に参加できるような企画が必要と思われる。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止			
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>真の映画祭とするには、多くの市民の参加が必要であることから、中心市街地活性化事業と連動させた企画とし多くの参加者増を図る。</p>									